

平 27 年 9 月 2 日

自由民主党富山県支部連合会  
政務調査会長 山 本 徹 殿

## 平成 28 年度 国・県予算に対する要望書

富山県商工会議所連合会

注) 要望内容の末尾の ( ) 書きは、商工会議所の名前です。

凡例：(富山)は富山商工会議所

## 平成 28 年度の国・県予算等に対する要望について

### ④経済建設部会

#### 景気・中小企業対策について

##### 1. 地域経済を支える中小・小規模企業の活力強化について

我が国経済は漸く輝きを取り戻しつつあるが、地域や業種によってはまだ格差がみられる。とりわけ、地域の中小・小規模企業は、高騰した原油価格が下落傾向にあるものの、エネルギー価格の高止まり、急激な円安によるコスト増、海外景気の下振れリスクなど、依然として厳しい経営環境に置かれている。

このような中、国内景気を本格的な経済成長路線にのせるためには、地域経済を牽引する中小・小規模企業の活性化が不可欠である。

については、地域経済の中核を担う中小・小規模企業の活力強化に向けて、次の支援施策を一層強力に展開されたい。

(1) 国内経済は総じて回復基調が強まっているものの、地域中小・小規模企業の多くが景気回復を実感するには至らない中で、官公需による切れ目のない有効需要の下支えは必要不可欠である。

については、引き続き十分な事業枠を確保され、国直轄事業を含めた県内企業優先発注はもとより、県内企業の仕事量の安定的な発注に向けて取り組まれない。

また、公共工事をはじめ、物品やサービスの発注に際しては、原材料・燃料の高騰を反映した価格で受注ができるよう、引き続き配慮されたい。(富山)

(2) 原油や資源価格の高止まりは、原材料価格や物流コストなどの上昇に繋がりが、とりわけ、経営基盤が脆弱な中小・小規模企業の収益圧迫などに繋がる懸念される。

については、地域中小・小規模企業の安定的な資金繰りを維持するために「経済変動対策緊急融資」や「緊急経営改善資金」の継続をはじめ、既存融資制度の更なる拡充を図られたい。(富山)

(3) 国の経済対策として創設された「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり・商業・サービス革新補助金」などは、経営資源が乏しい中小・小規模

事業者や創業者にとって有効な支援施策であり、また、国の小規模企業支援法および基本法に基づき、商工会議所が取り組みを進めている「経営発達支援計画」においても小規模事業者の売上増加や販路拡大に繋げるための重要な施策である。

については、平成 28 年度以降も継続・拡充されるよう国などに働きかけられたい。(富山)

(4) 各種補助金の申請に際して、事業者は多くの時間と労力、時には多額の費用負担をし、また商工会議所などの支援機関は全力で支援している。

その申請が不採択となった場合は、事業者は事業内容や資金繰りなどの経営計画を抜本的に見直すことを余儀なくされ、負担も増す。支援機関は、申請内容や不採択理由などの妥当性を検証して、今後の更なる支援強化に繋げる必要がある。

については、厳正で効率的な補助事業実施の観点からしても、申請者に対して不採択の通知と合わせて、明確な理由を簡潔に面でフィードバックされるよう、国をはじめ、補助事業者や間接補助事業者へ働きかけられたい。

また、各種申請手続の簡素化に向けて、国をはじめ、関係機関に働きかけられたい。(富山) (新)

(5) 小規模企業支援施策である「経営改善普及事業」に従事する商工会議所などの経営指導員の員数を今後とも保持されたい。また、中小・小規模事業者の経営課題が複雑・多様化する中で、専門家による支援が必要とされるケースが増えており、特に「とやまエキスパートバンク(経営・技術強化支援事業費)」事業の利用者が増えている。

更に、「小規模事業者持続化補助金」「ものづくり・商業・サービス革新補助金」についても中小・小規模事業者にとって販路開拓や積極的な設備投資において持続的な経営に向けた支援策として申請者の相談件数が増加している。

については、国の小規模 2 法(基本法、支援法)に基づき、中小・小規模企業に寄り添った伴走型の支援を積極的に取り組むためにも、「とやまエキスパートバンク(経営・技術強化支援事業費)」などの小規模事業指導費補助金の増額を図られたい。(富山) (魚津)

## 2. 地方社会を左右する中小企業の人材不足解消への支援拡充について（新）

2015年版中小企業白書では、深刻な人手不足に焦点をあて、人材を確保できていない中小企業が4割程に上ると指摘している。当県においても、相次ぐ大型商業施設のオープン等が重なり、有効求人倍率が1.5倍を超え、且つ、求人時給も急騰する等、中小企業では人材確保に大変苦慮している状況にある。また、現在、各自治体で策定している「地方創生総合戦略」は、地域人口の減少や地域経済の縮小を克服するビジョンであり、地域社会の活性化には、中小企業が事業発展していくことが不可欠であることは言うまでもなく、その足かせになっている人材不足を解消することは、喫緊の課題となっている。

については、地域の中小企業の人材確保への支援拡充、特に、大都市圏からのU I Jターン支援（処遇面での都市間差額助成、移住者の生活安定化への経済的支援、情報提供体制の強化等）の強化とともに、若年労働者の不足を補うため、外国人労働者の受け入れ要件等の規制緩和をお願いしたい。（高岡）

## 3. 富山県内の人材育成機関の拡充について（新）

近年、少子高齢化による労働力人口の減少に伴い、中小企業の労働力不足が問題となっている。中でも、地域の中小企業が事業を持続させていくうえで、専門性や技術を要する人材の確保が重要であるが、建設業界においては、建築分野の専門技術者の人材不足が深刻化している。企業内で人材を育成しようにも、O J Tによる専門性や技術の習得は、時間とお金と労力が必要であり、企業にとっては大変負担が大きい。

については、富山県立大学には土木を学ぶ学科として環境工学科があるが、それに加え、建築学科の新設についてお願いしたい。（射水）

## 4. 信越、北関東周辺地域とのビジネス交流の推進について

北陸新幹線の開業により移動時間が大幅に短縮されることで、先端的で高い技術水準を誇る企業が多く立地する沿線の上越市、長野市、高崎市、さいたま市を含めた信越や北関東周辺地域との経済交流の活性化が期待される。

については、経済団体、関係機関と連携して、県内産業の振興を図るうえで非常に有効である同地域とのビジネス交流の支援に引き続き努められたい。（富山）

## 5. 女性の活躍支援について（新）

生産年齢人口の激減が見込まれる中、労働力として女性の働きに期待が寄せられ、働きやすいように仕事と子育て・介護との両立を社会全体で支える基盤整備が急務である。とりわけ、厚生労働省が人材不足で政策的理由から喫緊の対応を求めている介護、保育、看護、建設の「重点4分野」、及び「小1の壁」問題には富山県、富山市なども積極的な取り組みが必要である。

については、公的学童保育の時間延長や小学生を預かる施設の整備・充実を市などにも早急に指導されるとともに、在宅ビジネスモデルの普及などに注力された  
い。（富山）

（注）小1の壁：共働き家庭において、子どもを保育園から小学校に上げる際、直面する社会的な問題。

※小学校に入学して子供が急にしっかりするわけでもなく、保護者は安全面でも精神面でも心配がつかないこと、及び小学生になると、時短勤務制が無くなる企業も多く、子どもの小学校入学を機に、退職や、働き方の変更を迫られるワーキングマザーが多い。

また、重点4分野の中でも介護、看護の従事者は、急患などで定時に帰宅することは現実的に困難と考える。数少ない保育園では、延長保育である程度遅い時間まで子どもを預かる。公的な学童保育では通常17時（延長18時）で終わるところが多く、子どもが家で、一人で過ごすことになる。

## 6. 起業家支援制度の拡充について（新）

県においては、産業活性化並びに地方創生等のため、各種の起業家支援策を講じておられるが、新幹線も開業し、関東圏と2時間で直結した現在では、県内外での周知募集活動はもとより、特に関東圏での積極的な周知活動により、県内で起業者を増やし、県内産業を活性化させることが求められている。

また、起業しやすい支援施設として、公立学校施設の廃校舎や旧公共施設等のインキュベーション施設としての再利用や、それ以後の企業化支援としての工場アパートとしての再利用等も必要であると考えている。

については、関東圏での積極的な周知活動に加え、公立学校施設の廃校舎や旧公共施設等のインキュベーション施設としての再利用など、制度の拡充についてご検討いただきたい。（黒部）

## 地域振興について

### 7. 中心市街地の活性化について

魅力あるまちづくりを推進するため、富山市の『第2期中心市街地活性化基本計画』に盛り込まれている事業の実現に向けて引き続き支援されたい。（富山）

### 8. 中心市街地における空き店舗対策事業への支援拡充について（新）

現在、地方都市の中心市街地では空き店舗や空き地が増加し、まちの魅力が徐々に失われつつある。今後、人口減少や高齢化が見込まれる中、持続可能な「まち」を実現するためには、中心市街地の空き店舗や空き地を有効活用し、計画的に都市機能の集積を図るとともに、まちなか居住を推進し、まちの賑わい創出につなげていくことが重要になっている。

については、空き店舗や空き地の利活用を促進するため、空き店舗等の解体・改修費用や運営費用など空き店舗対策事業に対する支援の拡充をお願いしたい。

（高岡）

### 9. 東京オリンピックにおける文化イベントについて

オリンピックなどの国際競技大会は、国が大きく飛躍する起爆剤となるばかりでなく、地方にとっても選手団の合宿や大会会場を誘致できれば観光分野などで相乗的な効果が期待でき、今後、活発な誘致活動を各地で展開すると予想される。

また、オリンピック憲章には、文化的プログラムの開催が競技大会と合わせて定められており、オリンピックのアスリートと同数の約1万人のアーティストによる「文化イベント」を全国各地で開催することなども検討されている。

については、文化と産業は車の両輪のように作用し合うことで経済や社会に活力をもたらすことを考慮し、上述の文化イベントの実現に向けて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会などに働きかけられたい。加えて、選手団の合宿の誘致や文化イベントが、富山で実施されることについても働きかけられたい。（富山）

### 10. 防災対策の推進について（新）

口永良部島や御嶽山の噴火で注目される活火山として、本県では立山弥陀ヶ原

が該当する。立山弥陀ヶ原の地獄谷周辺では、大規模な水蒸気爆発が過去1万年で複数回発生し、2011年からは火山ガス濃度の高まりで、翌年から遊歩道が立ち入り禁止になり、中央防災会議の有識者会議で監視・観測体制を速やかに構築することにされた。弥陀ヶ原周辺で噴火した場合は、常願寺水系や富山平野に甚大な被害をおよぼす危険性がある。

については、噴火の可能性が低いとされる立山弥陀ヶ原だが、周辺の観測体制の速やかな構築や、避難ルートを含めた防災マニュアルの早期整備・周知など国をはじめ、関係機関に働きかけられたい。

加えて、地震をはじめとする自然災害対策の充実・強化にも注力されたい。(富山)

### 観光・コンベンションの振興について

#### 11. 広域観光の推進及び産業観光事業への支援について

富山県商工会議所連合会をはじめとする県内商工会議所は、北陸新幹線の開業効果に関連産業の裾野が広い観光分野でも獲得し、地域の需要拡大や雇用創出に繋げるため、連携して各種事業を展開している。

「広域観光」を活性化させるために、これまで取り組んできたノウハウを活かした県内の「産業観光」施設やモデルコースなどを紹介した県下統一版の産業観光ガイドブックを平成26年度に引続き本年度も制作し、来県したビジネス客などに県内観光を促す事業に取り組んでいる。

については、「産業観光」を軸とした「広域観光」推進への取り組みに対して、新たな施策を講じられるとともに、観光振興への補助制度の充実を国へ働きかけられたい。(富山)

#### 12. JR 富山駅舎空間の快適性・利便性の向上について (新)

初めて富山に降り立った旅行者の第一印象は、北陸新幹線の開業で乗降客が増大するJR富山駅舎の空間や、駅周辺の景観などで形成されることが多々ある。

とりわけ、旅行者が改札口を一步踏み出た駅舎の空間は、その都市の印象に影響を与える可能性が極めて高いと想定されるため、利用者ニーズの把握に努め、

的確な改善を早期に図る必要がある。

については、旅行者が必要とする観光地点やそのアクセス情報を提供する観光案内所の機能が有効に発揮できる配置、及び駅舎内商業施設、トイレ、コインロッカーほか各施設への分かりやすい誘導案内の充実も含め、利用者の快適性・利便性の向上に向けて、富山市をはじめ、JR 西日本など関係機関と協議・指導されたい。（富山）

### 13. 高山本線の利便性の向上について

「高山本線」は、北陸新幹線経由による観光客が、高山市などを訪れる際の二次交通としての利用価値が高まっているうえに、大雪など防災上の観点からしても重要な路線である。

については、「特急ひだ号」の増便や北陸新幹線のダイヤに合わせた接続など、利便性向上を JR 東海・西日本をはじめ、高山本線強化促進同盟会などの関係機関や国へ働きかけられたい。（富山）

### 14. 観光統計の整備と利用促進について（新）

国内外の旅行者を快適に受け入れ、リピーターとして繰り返し富山へ訪れてもらうためには、宿泊施設の稼働率、北陸新幹線や飛行機ほか公共交通機関の利用状況、観光バスや貸切バスの需要状況、観光地点の来場状況など、正確な基礎データを取集のうえデータベース化し、観光振興施策への積極的な活用や、関係団体への情報提供などが有用である。

については、旅行者が必要とする情報をスマートフォンやタブレット機器で、本データをリアルタイムに閲覧できるシステムを構築され、観光地点や宿泊施設などの利用促進に努められたい。（富山）

### 15. 手続委託型輸出物品販売制度の円滑な導入支援について（新）

本年 4 月に創設された手続委託型輸出物品販売制度は、商店街などの各免税店が、第三者に免税手続きを委託することが可能となり、外国人観光客の利便性向上や商店街活性化に有用である。

については、本制度の事業者への周知・普及はもとより、第三者への委託費が商

店街などの重荷とならないよう一部補助制度を検討されたい。

また、外国人の消費税免税申請手続きは、諸外国で一般的な出国時還付手続きの導入など、観光振興の観点から輸出物品販売制度の抜本的な見直しを国に働きかけられたい。（富山）

#### 16. 富山湾における海上観光への支援について（新）

滑川市の「ほたるいか海上観光」は、その歴史は古く、今日では富山県を代表する春の風物詩であるとともに、「富山のほたるいか」としてのブランド化にも大いに貢献してきている。また、富山湾から望む雄大な立山連峰は、世界的にも類を見ない優れた景観であり、世界で最も美しい湾クラブ加盟に相応しい自然環境として高く評価されているところでもある。

本年3月、北陸新幹線の開業によって、本県への観光客が大幅に増加していることから、これらの観光資源を活かした海上観光の充実が大変期待されている。

この度、滑川市では、「ほたるいか海上観光」をはじめ富山湾沿岸地域との連携も視野に入れた富山湾岸観光等による通年観光を実施すべく、新たに観光遊覧船を購入し来シーズンから運行することとしている。

ついては、滑川市における観光遊覧船の取得や富山湾の湾岸観光の推進に格段のご支援をお願いしたい。（滑川）

### 基幹交通体系の整備について

#### 17. 北陸新幹線の早期全線整備について

北陸新幹線は「東京—大阪間」の全線がフル規格で整備されることで、その機能が十分発揮され、効果が得られる。しかし、現状では「金沢—敦賀間」が平成37年度末の開業予定のほか、「敦賀—大阪間」は未だにルートが策定されないなど多くの課題が残されている。

ついては、沿線住民の悲願であるフル規格による大阪までの全線整備が一日も早く実現されるよう、国や関係機関へ積極的に働きかけられたい。（富山）

## 18. 北陸新幹線新高岡駅への「かがやき」定期便停車の実現について（新）

去る3月14日に北陸新幹線・長野～金沢間が開業し、さらに、新高岡駅への臨時便「かがやき」停車にご配慮を賜り深く感謝申し上げます。

北陸新幹線新高岡駅は富山県西部地域はもちろん、能登地域、飛騨地域の“飛越能の玄関口”であり、新高岡駅を拠点とした同地域の振興、発展のために重要な駅となっている。このため、開業後においても関係各市をはじめ、経済団体や各種団体が連携しながら「一人一客、一人一乗車運動」を展開し、継続的に利用促進に取り組んでいるところである。

については、「かがやき」定期便の新高岡駅への停車について、JRや関係機関への働きかけをお願いしたい。（高岡）

## 19. 北陸新幹線つるぎの延伸について（新）

北陸新幹線が開業し関東圏へのアクセスは向上し、ビジネスや観光に多大な貢献をしている。県東部においても関東圏とのアクセスが格段に向上しましたが、それに比較して「はくたか」やあいの風鉄道からの関西圏や中京圏とのアクセスが旧態前としているばかりか、時間帯によっては金沢での乗り換え時間待ちが長くなったといったことが見受けられる。関西圏や中京圏との経済界の繋がり、自動車関連や機械関連そして観光関連を中心に、今でも深く大きなウェートを占めている。

このような中で、「つるぎ」は現在富山・金沢間のシャトル便として利用されているが、このシャトル列車「つるぎ」の一部(始発・最終便等)を金沢から上越妙高駅までに延伸することにより、県東部の住民や産業界の関西圏や中京圏とのアクセスが向上し、合わせて停車駅の増加で乗車率も増加するものと思案される。

については、シャトル列車「つるぎ」の一部(始発・最終便等)を金沢から上越妙高駅までの延伸について、積極的な働きかけをお願いしたい。（黒部）

## 20. JR城端線と氷見線の直通化及びICカードの読み取り機の設置について

JR城端線と氷見線は、通勤・通学や、交通弱者である高齢者のための交通手段として、また、新幹線を利用する観光客やビジネス客の二次交通としても、その存続と利便性の向上が大変重要となっています。JR西日本では、本年10月より観光客向けのコンセプト列車“べるもんた”を運行し、両線の活性化が図られ

ている。

については、利便性の向上や、新幹線や並行在来線との接続強化を図るため、両線の直通化について格段のご配慮をお願い申したい。

また、現在「あいの風とやま鉄道株」では IC カード「ICOCA」が導入され、首都圏や近畿圏など全国 10 種類のカードとの相互利用がされており、過日 7 月 14 日には JR 西日本より北陸線や枝線での優先的な導入を検討したい旨発表がされたところである。JR 城端線・氷見線においても「あいの風とやま鉄道」との連携や両線の利便性向上のため、IC カード読み取り機の設置について、JR や関係機関への働きかけをお願いしたい。（高岡）

## 21. 万葉線の延伸について

県内の中央に位置する海王丸パークは、富山県内でも有数の集客力の高い観光施設であり、北陸新幹線が開業して以来、入込み客数も増加の一途である。平成 27 年度には、タモリカップや全国豊かな海づくり大会の開催会場にも選定され、全国的に知名度も高まっている。今後も更なる観光客の集客が期待されるが、公共交通でのアクセスの利便性を図るため、北陸新幹線の二次交通としての機能を果たす万葉線の海王丸パークまでの延伸が急務と考えるので、県の全面的な支援をお願いしたい。（射水）

## 22. 「魚津駅・新魚津駅及び周辺整備」について

市民はもとより、新川地域における来訪者の移動の利便性向上等のための魚津駅・新魚津駅の駅舎及び駅前広場の整備の推進に格段のご配慮をお願いしたい。（魚津）

## 23. 「富山きときと空港」の利用促進について

「富山きときと空港」は、環日本海・アジア交流の拠点空港としての役割を果たす機能充実が一層求められている。

一方で、北陸新幹線開業の影響を受け、基幹路線の「富山―東京便」は厳しい状況だが、インバウンド振興の観点からも、国際化が加速する羽田空港との便数維持は極めて重要である。

については、富山空港を発展させる会・富山空港国際路線利用促進協議会が制作された冊子「便利だね！おトクだね！富山きとくと空港」も活用され、新幹線と航空機が補完的な関係にあることを強力に周知され利用促進を図られたい。

加えて、LCC(格安航空会社)やリージョナルジェットの利用による新たな国内(大阪国際空港等)・国際(経済成長が著しい東南アジア等)路線の開拓など、国内外の航空路線を充実することで、旅客需要の掘り起こしと競争力の強化を図られたい。(富山)

#### 24. 「富山高山連絡道路」の早期完成について

地域高規格幹線道路である「富山高山連絡道路」は、高規格道路である中部縦貫自動車道、北陸自動車道並びに東海北陸自動車道とともに、信頼性の高い道路ネットワークを形成する重要な道路である。

については、当該道路は沿線の産業や広域観光活性化に大きく寄与することから、早期完成を引き続き国へ働きかけられたい。(富山)

#### 25. 富山県湾岸都市を結ぶ道路の建設促進について

##### (1) 湾岸連絡道路(朝日～射水～氷見)の建設促進

富山県の湾岸都市を結び能登地域に通ずる湾岸道路(国道8号～国道415号～国道160号)は、伏木富山港の三港(伏木港、富山港、富山新港)を結ぶ港湾道路として、また災害時における国道8号のバイパス的な役割を担う重要な幹線道路だが、交通量の実態などに合わせ、早期整備に特段のご配慮をお願いしたい。(射水)

##### (2) (仮称)七美荒屋線の道路新設

伏木富山港の三港(伏木港、富山港、富山新港)の連携強化を図ることが港湾機能の一層の向上に資する。については、伏木富山港連絡道路の早期策定と整備促進についてお願いしたい。

特に、射水市と富山市を結ぶ道路は慢性的な交通渋滞の状況であり、国際拠点港湾である伏木富山港三港の連携強化に向けた道路「(仮称)七美荒屋線」の新設について、格段のご配慮をお願いしたい。(射水)

## 26. 国道8号バイパスの建設促進について（新）

国道8号線は、日本海沿岸を縦貫する主要な基幹道路であり、本市の市民生活や産業経済等の振興に大きな役割を果たしている。

近年のモータリゼーションの進展とともに、交通の円滑化が求められる中、平成16年には、魚津滑川国道8号バイパスが全線で暫定供用開始され、本年度中に全線4車線化が図られると伺っている。更に、入善黒部バイパスは、魚津市江口と黒部市古御堂との間の区間が、平成26年度に暫定2車線で供用開始され、既に供用済みであった黒部市古御堂～入善町上野間と連結したところである。北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅への利便性はもとより、新川地域の産業経済や地域間交流の進展に大きく寄与すると期待している。

しかし、本バイパスの供用開始により、著しく交通量が増大しているのも事実で、交通事故等の発生が懸念されている。

については、円滑な交通を進めるためにも、入善黒部バイパスの4車線化の整備促進について、格段のご配慮をお願いしたい。（魚津）

## 27. 日本海側拠点港伏木富山港の港湾機能の拡充及び整備促進について（射水）

### （1） 富山新港の多目的国際ターミナルの整備

泊地の－14m増深、－12m岸壁の延伸（残約200m）とコンテナヤードの拡張について、引き続き働きかけられたい。

### （2） 富山新港に寄港する旅客船の大型化への対応並びに旅客船ターミナル施設の設置について、特段のご配慮をお願いしたい。

## 28. 国内外との定期航路拡充と旅客船寄港誘致のためのポートセールス促進について（射水）

### （1） 諸外国（東南アジア・韓国・中国・ロシア）との定期航路拡充促進

### （2） 旅客船寄港の誘致促進

県や伏木富山港ポートセールス推進協議会等では、荷主企業や船会社に対し、港湾の利用促進に向けた各種の活動に取り組んでおられるが、引き続き、集荷体制の強化並びに定期航路の開拓・拡充について働きかけをお願いしたい。